



# ADRC Highlights

Vol.37

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

December 3, 2001

## ➤ ADRC 客員研究員からの報告

### □ 災害報道の現場 NHK を訪問



NHK 災害報道スタジオにて

日本放送協会 (NHK) は、災害時に備えた市民の教育、災害への早期警報と避難に関する情報の提供など、災害対策に関する非常に重要な役割を果たしています。NHK を訪問し、災害対策へのメディアの果たす役割の重要性を理解することが

できました。NHK は多くの人々が懸念する自然災害について広範な情報を提供しています。災害の原因究明や災害軽減のためのさまざまな技術や専門家によるアドバイスなどによって、災害が起きる前や災害が起きた際の情報発信は、極めて優れたものとなっています。NHK の放送技術は非常に進んでおり、例えばライブカメラによる火山爆発の映像や地震の揺れを即時にとらえるために全国 70 箇所に独自に配置した地震計、地震の揺れをさかのぼって記録することのできるスキップバックレコーダーが利用され、リアルタイムな災害情報が提供されています。

技術を進歩させるのと同時にまた、NHK は災害時にスタッフがどのように対応し、報道を行っていくのかに関する訓練も行っています。この訓練は 1,000 人以上のスタッフが参加して毎年行われています。災害が発生したときに、人々は情報やどう行動すればよいのかについての指針を報道に求めます。そのため、人々を落ち着かせ、パニックに陥らないようにさせるためにも正確な報道を行えるようスタッフを訓練する必要があります。

NHK への訪問は非常に充実した体験となりました。というのも、人々への知識の普及を通じた災害対策を考える上で、緊急時ばかりでなく自然災害への予防においても、メディアは情報の共有や発信において中心的な役割を果たすからです。NHK の災害報道は他の国々、特にアジア諸国での良い例となります。他の国のメディアも NHK と協力し、効果的で正確な報道を促進していくことができるようになることが望ましいでしょう。日本や世界の人々のために NHK が果たしている努力によって、世界中の災害に脆弱な地域が、自然に調和した平和なものへとなることを願います。

(Philomena Miria, Training Officer, National Disaster Management Office, Dept. of Provincial & Local Government Affairs, PNG)

### □ 客員研究員の任期を終了して ソー・バン・ヒーン

2000 年に大きな被害を与えた洪水によって、カンボジア国家災害管理委員会は、将来起こりうる災害に対する十分な対策をとるために、さらなるキャパシティビルディングの必要性を認識しました。ADRC の客員研究員プログラムへの参加は、即時にこの必要性に対応するものでした。私は、ADRC の客員研究員として 6 ヶ月間勤務する機会を得て、災害対応のさまざまな能力を向上させることができました。

ADRC の持つ先進的な技術をベースにして、多くの災害管理や防災のための情報が収集され、Web 上で公開されていま

す。ADRC のホームページとそこで公開されているインターネットを利用した GIS システム「VENTEN」から多くの災害管理に関する情報を得ることができました。また ADRC 所長やその他の研究員からも多くのことを学び、インターネット GIS を利用した災害情報に関する国際シンポジウムへの参加したこともよい経験となりました。



さらに、多くの政府機関・関連機関において災害対応や防災計画について担当者らと議論をしたり、貴重なお話を伺うこともできました。また、過去の災害で被害を受けた地域を訪れ、現在防災対策として整備しているさまざまな設備等を実際に目にするこ

とができたことは、理論と実践を結びつけるために非常に役に立ちました。

この 6 ヶ月間で私は非常に多くの知識や技術を身につけることができたと思います。これらは、

- ◆ 住民の意識向上のためのタウンウォッチプログラムで学んだように、NCDM の現在の訓練カリキュラムをもっと参加者が積極的にかかわることができるものにする
- ◆ 10 箇所以上の災害に脆弱な地域に対する訓練プログラムや 5 年計画 (NCDM が災害管理に際して持つ調整機能をより確かなものにする計画) を支援することのできる適切なプロジェクトを提案するなど、これからの私の活動の助けとなることでしょう。

最後になりましたが、ADRC の客員研究員は NCDM の災害対応能力を強化してくれるものとなったと思います。これは、ADRC スタッフの方々のご協力によるものだと思います。日本での滞在中、親切で温かいご支援をいただきましたことに非常に感謝しております。皆様の友情と快適な勤務環境によって、とても気持ちのよい滞在となりました。

(So Ban Heang, Secretary of the Scientific and Technical Committee, General Secretariat, National Committee for Disaster Management, Cambodia)

## ➤ ADRC スタッフ紹介

### □ 管理課 田中園子

アジア防災センター管理課のスタッフとして勤務し、2年半になります。アジアが好きで、大学卒業後もアジア諸国と取引のある貿易会社に就職しました。バンコク、香港での駐在を終え、7 年ぶりに生まれ育った神戸に帰ってきました。震災ですっかり変わってしまった街には未だに馴染めませんが、震災を体験していない神戸っ子として、何らかのかたちで復興の力になればと思っています。もちろん、大好きなアジアのためにも。

